



2019年7月22日

## **Audi Twin Cup 世界大会で、日本代表チームがツイン（総合）部門で初優勝**

アウディ ジャパン株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：フィリップ ノアック）は、2019年7月18日・19日両日、ドイツのヴィースバーデンで開催された「第15回 Audi Twin Cup World Championship（アウディ ツインカップ ワールド チャンピオンシップ）」において、日本代表チームがツイン（総合）部門において初めて優勝し、過去最高の成績をおさめたことを発表します。

Audi Twin Cup は、アウディ正規ディーラーのサービス品質向上を目的とした技能コンテストで、現在、全国に126店舗あるアウディ正規ディーラーのすべてのテクニシャンおよびサービスアドバイザーを対象に実施するものです。テクノロジーとサービスの2つの部門とツイン（総合）部門で競われ、ツインカップという名称もそれに由来、全世界で毎年開催しています。各国の優勝チームは、その国の代表としてワールドチャンピオンシップに出場し、アウディ サービス世界一の座を競います。今年は29ヶ国、57チームが参加しました。

今年3月に開催された日本大会では、予選を勝ち抜いたテクノロジー部門23名、サービス部門13名が出場。両部門のそれぞれ上位3名、計6名が、日本代表チームとして、このたび開催された第15回 Audi Twin Cup World Championship に出場しました。

今回、アウディ ジャパンは初のツインカップ獲得をめざし、昨年までテクノロジー部門は1つの販売店に所属する3名で編成するチーム別の対抗戦だったものを個人戦に変更し、異なる販売店に所属する上位3名を日本代表に選出する形を取りました。また、テクノロジー、サービスともに日本大会に出される課題の量を増やし、より広範かつ高度な技能を有する選手が確実に上位に入るように競技を変更しました。その上で、世界大会出場者に対しては、4回のべ15日間に渡る強化合宿で技能とチームワークを磨き、世界大会のシミュレーションを徹底的に実施して万全の準備を整え、さらにテクノロジーチームの3名は2日間の特別講習を追加で行いました。

今回のツインカップ受賞により、日本のAudi販売店のサービス技術の高さを世界に示すことができました。日本代表チームは、過去の世界大会でサービス部門、テクノロジー部門の各部門において個別優勝を挙げています。今回、ツイン部門での念願の初優勝となりました。

第15回 Audi Twin Cup World Championship の入賞国は以下の通りです。

<入賞国>

### ツイン（総合）部門

- 1位 日本
- 2位 インド
- 3位 オーストラリア

### サービス部門

- 1位 ドイツ
- 2位 ロシア
- 3位 イギリス

### テクノロジー部門

- 1位 トルコ
- 2位 フィンランド
- 3位 カナダ

日本代表チームメンバー（敬称略）

サービス部門

Audi 京都南 中山 宏起

Audi 川越 中島 稔

Audi 足立 城山 裕明

テクノロジー部門

Audi 芝浦 齊藤 勇

Audi 大阪中央 栗本 健太

Audi 徳島 山田 敬太